

JAMA ・ JAPIA

XML

XML 仕様書 作成ガイドライン

V1.00

JAMAEIE134

2013 年 03 月 31 日

JAMA

Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.

一般社団法人 日本自動車工業会
電子情報委員会 ビジネス システム部会

JAPIA

Japan Auto Parts Industries Association

一般社団法人 日本自動車部品工業会
IT 対応委員会 E D I 部会

目次

1 . はじめに	2
2 . 各社仕様書に記述する項目	3
3 . 仕様書の記述の仕方	4
3.1 表紙	4
3.2 目次	6
3.3 はじめに	7
3.4 メッセージ構造	8
3.5 項目割付表	9
3.6 メッセージ例	11
3.7 特記事項	13
3.8 補足 . 要素割付表	14
3.9 改訂履歴	15
4 . 本書の改訂履歴	16

<添付ファイル> テンプレート

- ・表紙テンプレート
- ・メッセージ構造テンプレート
- ・項目割付表テンプレート
- ・メッセージ例テンプレート
- ・要素割付表テンプレート
- ・改訂履歴テンプレート

各テンプレートは、JAMA ホームページからダウンロードできる。

1 . はじめに

一般社団法人 日本自動車工業会(JAMA)と、一般社団法人 日本自動車部品工業会(JAPIA)は、日本における部品取引業務の EDI 標準化を目的に、JAMA・JAPIA XML 導入ガイドラインを制定した。これに伴い、各社の XML 仕様書の記述方法についても統一化を図ることにした。

本書は、XML 仕様書を作成する際の記述方法(構成、書式等)について定めたもので、記述方法統一化により、仕様書参照者の便宜を図ると共に、広く標準化の普及に寄与することを目的としている。

各社において、XML 仕様書を作成する場合は、本書を遵守し、ここに示す規定に従って記述しなければならない。なお、作成にあたっては、本書に添付したテンプレートの利用を推奨する。また、第 3 章の各項目には、記述例を示したので、参考にされたい。

2. 各社仕様書に記述する項目

- ・情報種ごとに1冊の仕様書を作成する。
- ・記述項目の名称、および、順序は、ここに示す通りとする。

：必須 ：任意

	記述項目	必須	記述内容	テンプレート
1	表紙		会社名、情報種、発行日付、バージョン、責任部署を明記する。	表紙テンプレート
2	目次		仕様書の目次を記述する。	-
3	はじめに		仕様書の見方、概要など該当仕様書に関する注釈を記述する。	-
4	メッセージ構造		自社で使用するメッセージ構造を記述する。	メッセージ構造テンプレート
5	項目割付表		JAMA・JAPIA XML 導入ガイドラインに従って、自社の項目を割り付ける。	項目割付表テンプレート
6	メッセージ例		自社メッセージ例を、テンプレートに従って記述する。	メッセージ例テンプレート
7	特記事項		該当仕様書を使用する上での、特記・注記などをまとめて記述する。	-
8	補足・要素割付表		XML メッセージへの移行に際し、従来存在していた項目がXML メッセージのどの要素・属性に対応しているかを記述する。	要素割付表テンプレート
9	改訂履歴		今回までの全ての改訂内容を記述する。	改訂履歴テンプレート

各テンプレートは、JAMA ホームページからダウンロードできる。

3 . 仕様書の記述の仕方

3.1 表紙：＜必須＞

- ・ テンプレートを基に、下記に従って、各社の内容を記入する。
 - ・ 枠内 1 行目は、「JAMA・JAPIA 標準 XML メッセージ準拠」とする（固定）。
 - ・ 枠内 2 行目「XXXXXXXX 仕様書」の XXXXXXXX には、会社名がわかる表記を行う。
また、「仕様書」とし、「ガイドライン」「ガイド」などの表現はやめる。
 - ・ 枠内 3 行目には、各社の情報名、システム名などを記述する。
 - ・ 枠内 4 行目には、XML メッセージ名を記入する。
 - ・ 枠内 5 行目には、準拠する JAMA・JAPIA XML 導入ガイドラインの JAMA 発行番号 (JAMAEIExxx)を記入する。
 - ・ 枠の下段には、仕様書バージョン、作成（発行）日、会社名、担当部署名を入れる。
 - 仕様書バージョンは、各社の発行ルールに従った命名とする。（バージョン、リリース、版など）
 - 作成日の年号は、西暦とする。
 - 会社名、担当部署名は正式名称を使用する。
-

JAMA・JAPIA 標準 XML メッセージ準拠

会社名がわかる表記

XXXXXXXX 仕様書

自社情報名
システム名 など

内示確定情報

【SyncPlanningSchedule】

XML メッセージ名

JAMAEIE120 準拠

準拠する
JAMA・JAPIA XML 導入ガイドラインの
JAMA 発行番号

バージョン、リリース
番号

V4.0 R01

発行日(西暦)

2012年 4月13日

XXXXXXXX 株式会社
部

正式な会社名
担当部署

3.2 目次：＜必須＞

- ・記述項目の名称、および、順序は、当ガイドラインの2章の通りとする。
- ・章番号の付け方は、JAMA・JAPIA XML 導入ガイドラインに従う。
- ・ページ番号を入れることを推奨する。ただし、特定できない場合は、省略も可能。

目 次

1 .	はじめに	... 1
2 .	メッセージ構造	... 3
3 .	項目割付表	... 4
4 .	メッセージ例	... 9
5 .	特記事項	...11
補足 .	要素割付表	...13

章番号の付け方は、
JAMA・JAPIA XML 導入
ガイドラインに従う

1

1.1

1.1.1

(1)

3.3 はじめに：任意

- ・フォーマットは自由形式とする。
- ・「はじめに」の中に記述する内容（参考）
 - 仕様書の見方
 - XML 化した情報一覧
 - 運用に関する事項
 - その他

はじめに

(1)この仕様書の見方

- ・この仕様書は、JAMA・JAPIA XML SyncPlanningSchedule 導入ガイドライン（JAMAEIE120）を基準としています。
- ・ - - - -

3.4 メッセージ構造：任意

- ・テンプレートを利用し、自社のメッセージ構造を記述する。
- ・自社で使用しない要素は削除しても良い。
- ・自社での Usage を「自社 Usage」欄に MOX 方式で記入する。テンプレートには、JAMA Usage があらかじめ記載してあるので、自社 Usage に変更する（JAMA Usage R のものは、自社 Usage は M とする）。
- ・「自社 Occurrence」欄には、要素の場合は自社で使用する最大繰返し回数を記述する。不定数の繰返しは、JAMA Occurrence の最大数とする。自社 Usage が X の場合は空白とする。また、属性の場合も空白とする。
- ・補足説明が必要な場合は、「補足説明」欄に記述する。

メッセージ構造表

Position	Element/Attribute	自社 Usage	自社 Occurrence	補足説明
0000	jai:SyncPlanningSchedule			
0001	<i>xmlns:jai</i>	M		
0002	<i>xmlns:oa</i>	M		
0003	<i>xmlns:xsi</i>	M		
0004	<i>xsi:schemaLocation</i>	M		
0010	<i>releaseID</i>	M		
0020	<i>versionID</i>	M		
0030	jai:ApplicationArea	M	1	
0040	jai:Sender	M	1	
0050	oa:LogicalID	M	1	
0060	<i>schemeAgencyID</i>	M		
0090	jai:InterchangeDateTime	M	1	
	/jai:Sender			
0100	oa:BODID	M	1	
0110	jai:Receiver	M	1	
0120	oa:LogicalID	M	1	
0130	<i>schemeAgencyID</i>	M		
	/jai:Receiver			
	/jai:ApplicationArea			

中略

0700	jai:DateTimePeriod	M	3	
0710	<i>type</i>	M		
0720	jai:DateTimeText	M	1	
0721	<i>FormatCode</i>	M		
	/jai:DateTimePeriod			
	/jai:PlanningScheduleHeader			
0750	jai:PlanningScheduleShipToLine	M	9999	
0770	oa:Party	M	3	
0780	<i>role</i>	M		
0790	oa:PartyIDs	M	1	
0800	oa:ID	M	1	
0820	<i>schemeAgencyID</i>	M		
	/oa:PartyIDs			
0830	oa:Name	X		
1010	oa:Contact	O	2	
1020	<i>type</i>	M		
1030	oa:ID	M	1	
1040	oa:Name	O	1	
	/oa:Contact			
	/oa:Party			

自社での最大繰返し回数

3.5 項目割付表：＜必須＞

1. フォーマットはテンプレートに従う。自社項目を項目割付表に割り付ける。
 2. A 4 用紙横 1 列に印刷可能にすること。その中で、各列の幅の変更は可能。
 3. 列 A は要素のポジション番号を示している。
列 B から列 Z までは、要素名・属性名及びその構造を示している。
列 AA から列 AE までは、各要素・属性に対する JAMA での設定を示している。
これらは変更してはならない。
 4. 列 AF から列 AK までに自社項目の対応を記述する。
 5. 列 AF から列 AK の情報種名称欄に、自社の情報名称を記述する。
 6. 「自社 Usage」の列 AF には、すべての項目に対して、自社での使用・未使用を MOX 形式で記入する。
M：自社で必ず使用する項目
O：自社で場合によって使用する項目
X：自社で使用しない項目。ただし、項目割付表から削除することを推奨する。
(下記 12.を参照)
 7. 「自社 Occurrence」の列 AG には、
(1) 要素の場合：実際に使用する要素の数を n / m の形で記述し、 $1 / m$ から m / m まで全てのデータを記述する。
ただし、不定数の繰返しは、 $n / \text{JAMA Occurrence}$ の最大数 とする。
また、有限数の同種データの繰返しは、 $n / \text{自社での最大数}$ とする。
(2) 属性の場合：AG 列は何も記述しない
 8. 「自社項目名称」の列 AH には、自社の項目名称を記述する。
 9. 「自社設定値」の列 AI には、実際の設定データを記述する。
ただし、データが不定の場合は、左矢印 () にて項目名称を指し示す。
 10. 「自社データ長」の列 AJ には、自社のデータの桁数を記述する。
データ型は JAMA データ型に従うものとする。
 11. 「補足説明」の列 AK には、自社コードの説明や情報の設定条件など、補足説明を記述する。
 12. テンプレートは、JAMA・JAPIA 標準として定めた要素の基本構成が用意されている。
 - 要素を繰返し使用する場合は、必要数 (n 個) だけ該当部分をコピー・ペーストして使う。
 - 使用していない要素・属性は、その全体を削除することを推奨する。
-

項目割付表

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AA AB AC AD AE AF AG AH AJ AK

PositionElement/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	JAMA データ型	JAMA データ長	JAMA標準コード	自社 Usage	自社 Occurrence	自社 項目名称	自社 設定値	自社 データ長	補足説明
0000 jai:SyncPlanningSchedule											
0001 xmIns:jal	R	required				M			http://www.iana.or.jp/jai/v2	6	
0002 xmIns:oa	R	required				M			http://www.iana.or.jp/oa/v2	6	
0003 xmIns:xsi	R	required				M			http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	6	
0004 xsi:schemaLocation	R	required	String	6		M			http://www.iana.or.jp/jai/v2_SyncPlanningSchedule-Guide-v2.0.xsd	3	
0010 releaseID	R	required	String	6		M			JAI	6	固定値:基準となるJAI/グローバル/バージョン
0020 versionID	R	required	String	6		M			GD0000	6	固定値:発行機関名称コード
0030 jai:ApplicationArea	R	1..1				M	1/1				
0040 jai:Sender	R	1..1				M	1/1				
0050 oa:LogicalID	R	1..1	String	35		M	1/1		OEM001	6	送信者識別コード
0060 schemeAgencyID	O	optional	String	4	92 289 311	M			311	3	JP, TDB (Teikoku Databank, Ltd) 帝国データバンクの企業コード
0090 jai:InterchangeDate Time	O	0..1	Date Time	19		M	1/1	送信日時刻		19	CCYY-MM-DDTHH:MM:SS
0100 jai:Sender	O	0..1	String	14		M	1/1	処理番号		6	

中略

0700 jai:Date Time Period	R	1..9 required	String	3	55,157,158 159,257,299 307,540	M	1/3		257	3	Calculation date time:処理日/時刻
0710 jai:Date Time Text	R	required	String	3		M					
0720 jai:Date Time Text	R	1..1 required	String	35		M	1/1	処理日	102	8	CCYYMMDD年月日
0721 Format Code	R	required	String	3	7,102,203 204,610,614	M				3	
0700 jai:Date Time Period	R	1..9 required	String	3	55,157,158 159,257,299 307,540	M	2/3		299	3	Price adjustment start date:単価適用日
0710 jai:Date Time Text	R	required	String	3		M					
0720 jai:Date Time Text	R	1..1 required	String	35		M	1/1	単価適用日	102	8	CCYYMMDD年月日
0721 Format Code	R	required	String	3	7,102,203 204,610,614	M				3	
0700 jai:Date Time Period	R	1..9 required	String	3	55,157,158 159,257,299 307,540	M	3/3		157	3	Validity start date:対象基準日(終了日の指定無し)
0710 jai:Date Time Text	R	required	String	3		M					
0720 jai:Date Time Text	R	1..1 required	String	35		M	1/1	対象基準日	102	8	CCYYMMDD年月日
0721 Format Code	R	required	String	3	7,102,203 204,610,614	M				3	
0700 jai:Date Time Period	R	1..9 required	String	3	55,157,158 159,257,299 307,540	M					
0710 jai:Date Time Text	R	required	String	3		M					
0720 jai:Date Time Text	R	1..1 required	String	35		M	1/1	対象基準日	102	8	CCYYMMDD年月日
0721 Format Code	R	required	String	3	7,102,203 204,610,614	M				3	
0700 jai:Date Time Period	R	1..9 required	String	3	55,157,158 159,257,299 307,540	M					
0710 jai:Date Time Text	R	required	String	3		M					
0720 jai:Date Time Text	R	1..1 required	String	35		M	1/1	対象基準日	102	8	CCYYMMDD年月日
0721 Format Code	R	required	String	3	7,102,203 204,610,614	M				3	

3.6 メッセージ例：任意

- ・自社データが生成される順に記述する。
- ・説明が必要と思われる項目について、その説明を適宜記述する。
- ・テンプレートの「???」を必要なデータに置き換える。
- ・使用しない要素の行は削除する。
- ・属性のみ使用しない場合はその属性名も削除する。

メッセージ例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<jai:SyncShipmentSchedule
  xmlns:jai="http://www.jama.or.jp/jai/v2"
  xmlns:oa="http://www.jama.or.jp/oa/v2"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.jama.or.jp/jai/v2 SyncShipmentSchedule - Guide - v2.0.xsd"
  releaseID="JAI"
  versionID="GD0000"
  <jai:ApplicationArea>
    <jai:Sender>
      <oa:LogicalID schemeAgencyID="92">1234</oa:LogicalID>
      <jai:InterchangeDate>2012-04-13T13:30:00</jai:InterchangeDateTime>
    </jai:Sender>
    <oa:BODID>12345678</oa:BODID>
    <jai:Receiver>
      <oa:LogicalID schemeAgencyID="92">5678</oa:LogicalID>
    </jai:Receiver>
    </jai:ApplicationArea>
  <jai:DataArea>
    <jai:ShipmentSchedule>
      <jai:ShipmentScheduleHeader>
        <oa:Party role="BY">
          <oa:PartyIDs>
            <oa:ID schemeAgencyID="92">1234</oa:ID>
          </oa:PartyIDs>
          <oa:Name>1234自動車</oa:Name>
        </oa:Party>
      </jai:ShipmentScheduleHeader>
    </jai:ShipmentSchedule>
  </jai:DataArea>
</jai:SyncShipmentSchedule>
```

発信者を表す
1234：自社のコード

処理番号
受信者を表す
5678：x x 株式会社

BY：発注者
1234：自社のコード
1234自動車：自社の名前

中略

<pre> <jai:ShipmentScheduleLine> <jai:ManufacturingItem> <oa:itemID> <oa:ID schemeID="IN">ABCD</oa:ID> </oa:itemID> <oa:itemID> <oa:ID schemeID="CL">RED</oa:ID> </oa:itemID> <oa:Classification type="F"> <oa:Codes> <oa:Code>8</oa:Code> </oa:Codes> <oa>Note>ミラー</oa>Note> </oa:Classification> <oa:Classification type="S"> <oa:Codes> <oa:Code listAgencyID="290">E04</oa:Code> </oa:Codes> <oa:Description>001</oa:Description> </oa:Classification> </pre> <p style="text-align: center;">中略</p> <pre> <jai:ShipmentScheduleDetail> <oa:DocumentReference type="AAN"> <oa:DocumentID> <oa:ID>N001</oa:ID> </oa:DocumentID> </oa:DocumentReference> <jai:Quantity type="113">100</jai:Quantity> <jai:DatePeriod type="2"> <jai:DatePeriod Text FormatCode="203">201204181600</jai:DatePeriod Text> </jai:DatePeriod> </jai:ShipmentScheduleDetail> </pre> <p style="text-align: right;">後ろ略</p>	<p>IN: 部品番号を示すコード ABCD: 部品番号</p> <p>CL: 部品色を示すコード RED: 部品色</p> <p>8: 部品名称を示すコード</p> <p>部品名称</p> <p>E04: 背番号を示すJAMAコード</p> <p>背番号</p> <p>AAN: 納入指示明細番号を示すコード</p> <p>N001: 納品書明細番号</p> <p>113: 納入指示数を示すコード 100: 納入指示数 (100個) 2: 納入指示日/時刻を示すコード 203: 年月日時分を示すコード 201204181600: 実際の日付</p>
---	---

3.7 特記事項：任意

- ・フォーマットは、自由形式とする。(下記参照)
- ・XML メッセージへの移行に際し、従来存在していた項目がなくなる場合は、その旨を明記する。この場合、特記事項は必須とする。

特記事項

- (1) 生成されるメッセージの日付項目は西暦年 4 桁で設定します。業務データで西暦年上 2 桁が無いものについては、下 2 桁の値が「50」以上ならば「19」、それ以外ならば「20」を設定します。
- (2) 数量、個数、金額などの数値項目は、先頭ゼロを省略します。
- (3) 数値項目の小数点は、仮想小数点方式のため、ついておりません。
小数点の位置は、項目割付表の該当項目の「自社項目」欄に記述します。
- (4) 従来存在していた項目「納期区分」は、削除しました。

3.8 補足・要素割付表：任意

- ・従来の伝送情報の XML メッセージへの移行措置として、従来存在していた自社の各項目が XML メッセージのどの要素・属性（ポジション番号）に対応しているかを記述する。
- ・A4 用紙横書きとする。（各列幅は、適宜変更する）

内示情報 要素割付表

<ヘッダー部>

No.	項目名称	開始桁	桁数	XML 設定項目	内容説明	XML ポジション番号	備考
1	レコード区分	1	1	×	ヘッダー部を示す	-	
2	発信者コード	2	5			0050	
3							

コードの説明
など

XML 上での補足説明
など

自社のレコード構成に従い、
区別する。

<データ部>

No.	項目名称	開始桁	桁数	XML 設定項目	内容説明	XML ポジション番号	備考
1	レコード区分	1	1	×	データ部を示す	-	
n1	国内輸出区分	18	1		0：国内用 1：輸出用	1230	
n2	N月5日数量	70	8			1770	
n3	N月31日数量	272	8			1770	31日がない月は設定しない

3.9 改訂履歴：＜必須＞

- ・今回までの全ての改訂内容を記述する。
- ・最初に、初版発行日付を記述する。
- ・改訂ごとに、下記の表を作成する。
- ・「適用開始日」はオプションとし、そのバージョンが適用される(された)日を記述する。

改訂履歴

< 2013年1月1日 V1 発行 >

< オプション >

< 2013年5月31日発行 V2 改訂内容 >

適用開始日：2013年7月1日

No.	改訂箇所	改訂内容	備考
1	5. 特記事項	・日付けの記述方法についての項目を、(10)に追加しました。	
2	6. 項目割付表	・自工会仕様書作成ガイドラインに従い、項目割付表を追加しました。	
3			
4			

< 2013年10月31日発行 V3 改訂内容 >

適用開始日：2013年11月1日

No.	改訂箇所	改訂内容	備考
1			
2			
3			
4			

4 . 本書の改訂履歴

< 2013 年 3 月 31 日 V1.00 JAMAEIE134 発行 >

検討委員

一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会 / ビジネス システム部会 / メッセージWG

鏡原 隆司 (ホンダ)

久保田 潮 (日産)

塩澤 敬和 (トヨタ)

連絡先:一般社団法人 日本自動車工業会 総務統括部 電子情報システム担当

〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目1番30号 日本自動車会館

TEL:03-5405-6130

FAX:03-5405-6136

Copyright:一般社団法人 日本自動車工業会